

重点課題

【課題1】 A問題で、「書くこと」の領域が県平均74.3%に対し70.8%、B問題でも県平均32.2%、本校33.7%と低い。特に、Bの〔三〕「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く設問の通過率が15.7%と低かった。1ーグラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する設問が48.3%と課題がある。このことから、情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。

【課題2】 A問題で、8の一の漢字「束ねる」が68.5%、三の「せきをきる」という慣用句の通過率が23.6%と低い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 グラフや表などの資料から分かる内容を説明する学習活動を行う。グラフや表などの資料から複数の情報を読み取り、その中から自分に必要な情報を吟味して表現に生かしていけるようにしていく。その際、様々な形態の資料に出会わせるようにする。資料を読み解く際のポイントを理解し、国語だけでなく様々な場面で活用できる力を身に付けさせる。

【課題2】 漢字の継続的な練習や書き取りテストを行う。また、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるように、日々の生活の中で、その状況にふさわしい慣用句やことわざの意味を確認させて、用いる場を設定する。

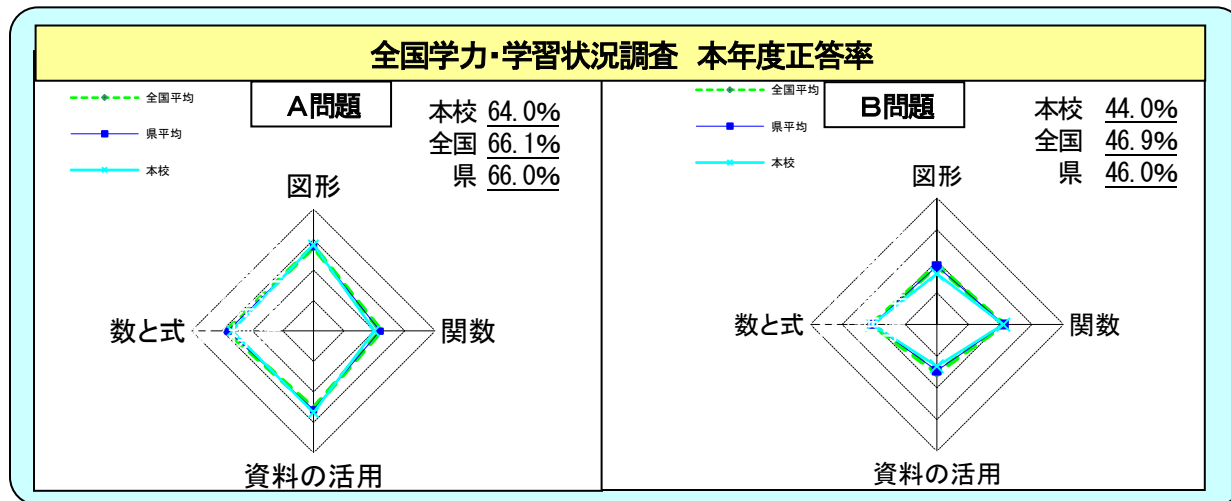
※ 小中一貫した取組については、要点を捉え要旨を捉える問題に課題があるので、いろいろな資料を関連づけて読む学習を取り入れていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生中間テスト			3年生期末テスト			
目標値	30%			50%			
実施後数値	25%			40%			

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生中間テスト			3年生期末テスト	3年生学年末テスト	3年生 全国学力状況調査	
目標値	60%			70%	75%	80%	
実施後数値	55%			60%	71%	75%	

来年度に向けて

グラフや表、文章などの複数の資料から根拠を見つけ出す活動、そこから読み取った情報を表現する活動をより丁寧に指導する。そのため、表現技法などの知識や語彙力を高めるために、反復的な学習を行う。



重点課題

【課題1】 着目する必要がある数量を見だし、それを基に連立二元一次方程式をつくることことができる。
(A問題 設問3(4)) 数と式 (平均正答率62.9%)
問題解決のために必要な情報を選択し、その情報にある関係を式に表すこと。

【課題2】 発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことことができる。(B問題 設問4(2)) 図形 (平均正答率32.6%)
条件を変更した場合に、変更前に証明との違いを理解し、証明に表すこと。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 問題解決のために見通しを立てる活動を充実させる。また、関係式を求める問題だけを解くのではなく、式とグラフの関係に着目するなど、数学的な見方・考え方を働かせる活動を取り入れる。

【課題2】 文字式を用いて解く問題を扱った後、数値や条件を変更して、自分で解答を再構築する活動を行う。その際に、条件の変更前と変更後で議論のどこが違うのか意識させる。

※小中一貫した取組については、1年間を通じて計画的に重点課題について、単元のまとめの学習をする際、発展問題・活用問題として幅広く学習し、式や言葉を用いて自分で説明できる表現力を身につけさせる。重点課題について、職員全体で把握し、常に次ぎにつながる学習を意識して児童生徒の指導にあたる。

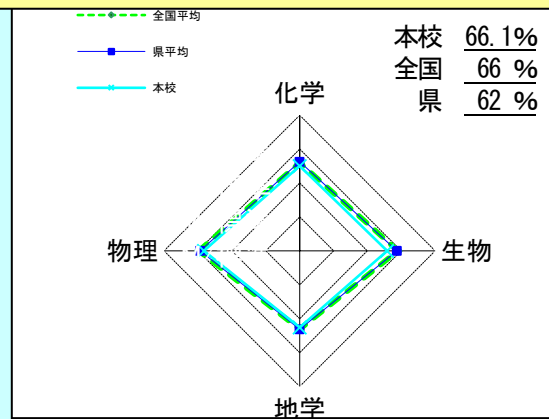
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験				2年生 学年末試験
目標値		50.0%	55.0%				65.0%
実施後数値		55.4%	64.2%				56.1%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H29「全国学力」	3年生 学年末試験	
目標値		25.0%	30.0%		40.0%	45.0%	
実施後数値		49.0%	50.0%		48.7%	36.3%	

来年度に向けて

課題解決のために、適切な情報選択をすることについては、教科の見方・考え方をより意識する。特に、条件を変更するといった課題に対応するためには、自身の考えを構造化し、他者に説明する活動を取り入れたい。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

【課題1】 蒸発と湿度に関する知識と、問題解決の知識・技能を活用して、植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘する問題において、正答率が18.0%と低く、無答率が14.6%と高くなっている。

【課題2】 化学変化の前後で、「原子の種類と数」は変化しないという知識と、化学変化を原子や分子のモデルで表す知識・技能を活用して、ガスバーナーの炎が赤いときの化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明することに課題があり、無答率が13.5%である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 問題解決の場面で、疑問を元に課題を設定し実験方法を考えさせる。その際、条件制御を厳密に行わせ、「変える条件」と「変えない条件」を明確にする。

【課題2】 原子や分子についての知識を定着させ、立体模型を使って化学変化を表すことにより、化学変化前後で「原子の種類と数」は変化しないことを体験させたい。そして、モデルで表す活動を繰り返し行い定着を図る。

※小中一貫した取り組みについては、実験の中で「変える条件」や「変えない条件」を意識させ、実験結果を比較させる指導を充実させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		2年生課題試験		2年生 学年末試験
目標値		65%	65%		70%		70%
実施後数値		57%	37%		58%		58%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 課題試験				2年生 課題試験	3年生 全国学力	
目標値	70%				70%	80%	
実施後数値	39%				32%	66%	

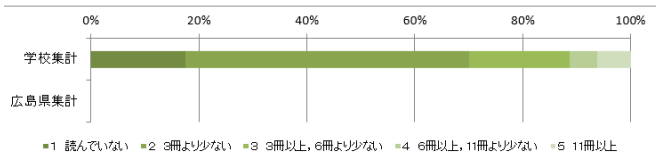
来年度に向けて

実験では、課題を解決するために何を調べればよいかを確認し、どのように条件制御すればよいか考えさせる場面を多く取り入れる。知識の定着度を確認した上で、反復的な学習を行い、再度、定着を確認し、定着を図る。

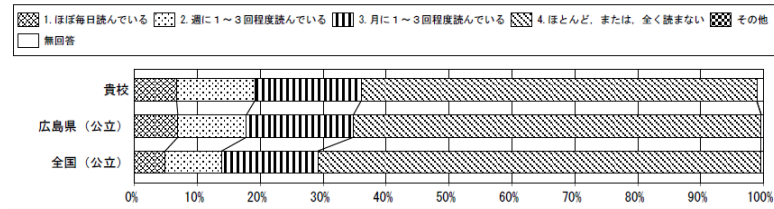
2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

一ヶ月に何冊くらい本を読んでいますか。

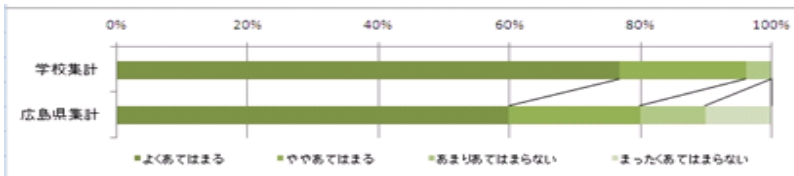


新聞を読んでいますか。

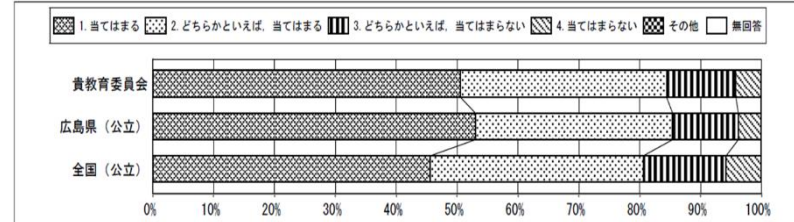


(2) 教科

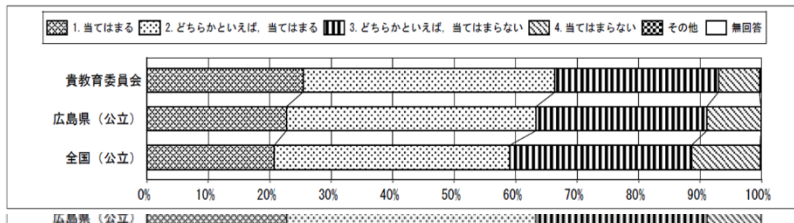
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



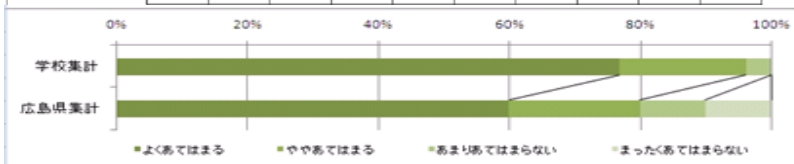
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。



理科の授業の内容はよく分かりますか。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	1か月に何冊くらい本を読んでいますか。読んでいない(17.5%) 1~3冊(52.5%)と読書週間が定着していない。	朝読書での委員会の呼びかけの徹底や1分間スピーチでのお勧め本の紹介を行う。	2	合計値 50% 以下	生徒アンケート実施	2月	合計値 65.1%	4.9%
全国	新聞を月に1~3回読んでいる(16.9%), ほとんど・全く読まない(62.9%) 生徒の割合が高い。	朝読書で新聞記事を扱うコラム曜日の取組を継続する。また帰りの会には、新聞記事より話題を選び、1分間スピーチを行う。	3	合計値 60.0% 以下	生徒アンケート	1月	合計値 58.5%	21.3%

	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の肯定的回答は53.8%であり、振り返りに課題がある	2	65%	生徒アンケートの実施	2月	62%	8.2%
数学	基礎・基本	数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。(50.0%)	2	60%	生徒アンケートの実施	2月	62%	12%
	全国	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。(45.0%)	3	60%	生徒アンケートの実施	2学期末	69%	24%
理科	基礎・基本	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的回答は42.7%であり、自分の考えを発表する活動に課題がある。	2	65%	生徒アンケートの実施	2月	47%	4.3%
	全国	「理科の授業の内容はよく分かりますか。」の肯定的回答は56.2%であり、とても低い。	3	60%	生徒アンケートの実施	2月	87%	30.8%
英語	基礎・基本	英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。(50%)	2	65%	毎日の自己評価と、アンケート調査を実施する。	2学期末と3学期末	71.6% 80%	21.6% 30%